

令和6年度地方における孤独・孤立対策推進事業交付金 事業実施報告書

【事業内容】

1. 地方版官民連携プラットフォームの構築

1. 事業の概要

孤独・孤立に関して、関係機関相互の連携と協働を図るためプラットフォームを構築する。

2. 事業実施の経緯・背景及び目的

社会環境の変化に伴い、地域における人と人とのつながりの希薄化や、家族構成の変化、居住地域の多様化に伴って、本人が望まずに孤立状態に陥っていることや、孤独を感じていることにより、生活上の課題を抱えてしまうケースがあることから、孤独・孤立を感じる人が、孤独感や孤立状態を解消できるように、様々な活動を行う団体を繋げ、孤独・孤立に関する共通認識を持つとともに、支援の幅を広げていくことを目的に実施。

望まない孤立や孤独に対しては、日頃から緩やかな社会的つながりが得られる居場所や環境の確保が図られることが重要である。一方で孤独・孤立という観点のみでは、様々な支援団体間で活動内容の共有や、支援が必要な者へのアプローチが必ずしも十分とは言えない状況である。

3. 事業の成果及び工夫した点

福祉分野にとどまらず、様々な団体と関係のある長野県社会福祉協議会を事務局として会議等への参加を呼び掛けることにより、多様な団体へのアプローチができた。

4. 事業の課題と次年度に向けての展望

関係団体等の意見を踏まえ、プラットフォームとしての取組を熟議しつつ、次年度に向けて構築していく。

2. 孤独・孤立対策関連事業の実施

③ 関係者間の活動等に係る情報共有や相互啓発活動

1. 事業の概要

プラットフォームの事務局を委託し、プラットフォーム参画の呼びかけ等を行うとともに、参画団体相互の連携が図られるよう、また、その他支援機関等と団体の情報や活動内容等について、情報共有を行う。

2. 事業実施の経緯・背景及び目的

孤独・孤立に関して福祉分野にとどまらず、様々な分野の民間団体とも協働が必要であり、各団体の取組の参考となるよう孤独・孤立や各分野の理解を深めることを目的として実施。

3. 事業の成果及び工夫した点

福祉分野にとどまらず、様々な団体と関係のある長野県社会福祉協議会を事務局として会議等への参加を呼び掛けることにより、多様な団体へアプローチするとともに一般住民も孤独孤立対策の意義等について理解を深められるよう、一般住民も視聴可能な形で孤独・孤立に対する講義等を実施した。

4. 事業の課題と次年度に向けての展望

様々な活動を行う団体を繋げるプラットフォームを立ち上げ、孤独・孤立に関する共通認識を持つとともに、支援の幅を広げていく。